



今できること、「考える」から「行動する」へ!



eco action! Special Number 02 vol.



来るというなら、ゴミのない未来。

5月30日は「ゴミゼロの日」。

毎日の暮らしから出るゴミ、道端にポイ捨てされているゴミ。でも、ゴミは初めからゴミだったわけではありません。着なくなった洋服、飲み終わったペットボトル……みんな私たちが必要としたモノ、暮らしの役に立ってくれたモノばかり。それを「ゴミ」と呼ぶのは、なんだか寂しい気がします。

5月30日は「5・3・0」ゴミゼロの日。環境省ではこの日から6月5日までの1週間を「ゴミ減量・リサイクル推進週間」と定めています。今までゴミとして捨てていたモノを再利用(リユース)や資源化(リサイクル)することで、ゴミを減らして環境負荷を少なくできる。モノをゴミにしない暮らしが当たり前になれば、ポイ捨てもムダ遣いもない未来が、きっとやって来る。

きょう1日、ゴミのない未来を思い描いてみませんか。そして、まずはできることから始めてみませんか。

5月30日は「ゴミゼロの日」。

毎日の暮らしから出るゴミ、道端にポイ捨てされているゴミ。でも、ゴミは初めからゴミだったわけではありません。着なくなった洋服、飲み終わったペットボトル……みんな私たちが必要としたモノ、暮らしの役に立ってくれたモノばかり。それを「ゴミ」と呼ぶのは、なんだか寂しい気がします。

5月30日は「5・3・0」ゴミゼロの日。環境省ではこの日から6月5日までの1週間を「ゴミ減量・リサイクル推進週間」と定めています。今までゴミとして捨てていたモノを再利用(リユース)や資源化(リサイクル)することで、ゴミを減らして環境負荷を少なくできる。モノをゴミにしない暮らしが当たり前になれば、ポイ捨てもムダ遣いもない未来が、きっとやって来る。

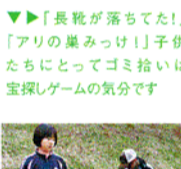
ゴミ拾いから広がる地球愛。北海道最大の環境ムーブメント ラブアース・クリーンアップ in 北海道2010

北海道から地球へ、未来へ、ゴミ拾いを通して環境への思いをつなぐ全道一斉清掃活動「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」。約2,400団体・5万人余りが参加する北海道最大の環境ムーブメントです。その一員として昨年から活動に参加しているのが、札幌市三里塚ミニ児童会館です。三里塚ミニ児童会館では今春「みみエコ隊」を結成。学校

近くの公園を中心に、放課後にゴミ拾いを実施しています。「自分たちが遊ぶ場所を自分たちの手できれいに。その体験を通じてエコ意識を養い、さらに子供を介して家族ぐるみでエコ活動を実践するきっかけになれば」とスタッフの大橋明日子さん。ゴミゼロの日に向けて、みみエコ隊は今日も元気に奮闘しています。



▲この日集まったみみエコ隊22人、ゴミ袋を手にいざ出発。みんなで公園をきれいにするぞ! エイエイオー!



▶「長靴が落ちてた!」「アリの巣みつけ!」子供たちにとってゴミ拾いは宝探しゲームの気分です



▶自分たちで公園をきれいにすると気持ちいい! 小さなエコ意識が、今日もすくすく育っています



ECO News [エコニュース]



北海道環境生活部環境局 地球温暖化対策室長 荒井 真年さん

地球温暖化を防ぐために、北海道ができること。〈ガイア・NEXTプロジェクト〉始動!

5月19日、北海道は「北海道地球温暖化対策推進計画」に基づく各分野の重点的施策「ガイア・NEXTプロジェクト」を発表しました。プロジェクトでは北海道の地域特性を踏まえ、「暖房や自動車の利用が多い北海道的ライフスタイルの低炭素化への転換」など三つの柱に27事業を展開。一定時間電気を消して過ごす「赤れんがガイアナイト」などのイベントや「一年を通じてエコ行動に取り組むファミ

リー」募集、エコドライブ講習会など、道民参加型の企画も多数用意しています。「無理をせず、できることを少しずつ長く続けることが大切。小さな行動の積み重ねが大きな成果につながることを実感してもらえたら」と地球温暖化対策室室長・柴田真年さん。いよいよ始動したガイア・NEXTプロジェクト。その主役は、道民の皆さんです。

▼「ガイア・NEXTプロジェクト」三つの柱

- 暖房や自動車の利用が多い北海道的ライフスタイルの低炭素化への転換
 - 太陽光や木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの積極的導入
 - 二酸化炭素吸収源としての森林の整備
- 【北海道の地球温暖化対策】
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/
■お問い合わせ/地球温暖化対策室 TEL.011-204-5189

「北海道新聞エコ基金」への寄付のご協力をお願いします。

- 募 金 方 法 / 郵便振替
 - 口 座 番 号 / 02710-5-53438
 - 口 座 名 義 / (財)北海道新聞野生生物基金
 - お問い合わせ / 北海道新聞社広告局
TEL.011-210-5715
(平日9:30-17:30)
- 北海道新聞エコ基金は、北海道新聞野生生物基金内に「北海道エコ・アクション」と連動して設けられたプロジェクトです。

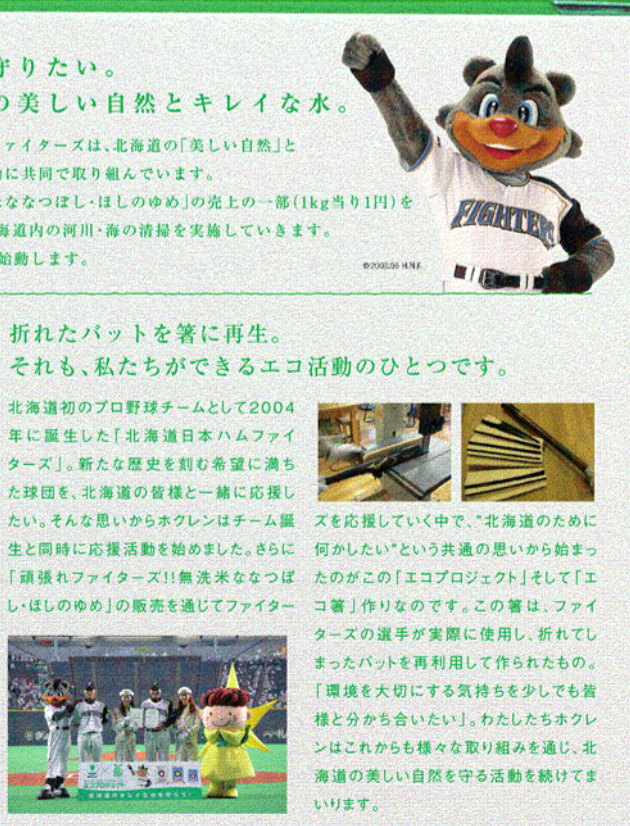
私たちも北海道エコ・アクションを応援します! [OFFICIAL PARTNER] ホクレン コブさぼろ 札幌トヨタ 三菱自動車

ホクレン × FIGHTERS ECO PROJECT キープ! クリーンウォーターエコプロジェクト

みなさんと共に守りたい。ふるさと北海道の美しい自然とキレイな水。ホクレンと北海道日本ハムファイターズは、北海道の「美しい自然」と「キレイな水」を守る環境活動に共同で取り組んでいます。「頑張れファイターズ!! 無洗米ななつぼし・ほしのゆめ」の売上の一部(1kg当り1円)を活動費用として積み立て、北海道内の河川・海の清掃を実施していきます。まずは、今年7月、豊平川から始動します。

家庭からも、精米工場からも「とぎ汁」を出さない。ホクレンの無洗米は、環境について真剣に考えています。ホクレンの無洗米は、水や添加物を一切使用せず、精米後に残る肌スカの粘着性だけを削ぎ、加工しています。そのためご家庭はもちろん、精米工場からも水質汚染の原因となる「とぎ汁」を出しません。また、無洗米の製造過程で出る「肌スカ」は有機肥料や家畜のエサとして利用されています。無駄な廃棄物を出さず、きちんと自然へ循環させる。ホクレンの無洗米はそうしたエコの理念に基づいています。そしてさらに一歩先へ……。新たなチャレンジとして、ホクレンはファイターズと共同で取り組む環境活動「エコプロジェクト」をスタートさせました。

折れたバットを箸に再生。それも、私たちができるエコ活動のひとつです。北海道初のプロ野球チームとして2004年に誕生した「北海道日本ハムファイターズ」。新たな歴史を刻む希望に満ちた球団を、北海道の皆と一緒に応援したい。そんな思いからホクレンはチーム誕生と同時に応援活動を始めました。さらに「頑張れファイターズ!! 無洗米ななつぼし・ほしのゆめ」の販売を通じてファイターズを応援していく中で、「北海道のために何かしたい」という共通の思いから始まったのがこの「エコプロジェクト」そして「エコ箸」作りなのです。この箸は、ファイターズの選手が実際に使用し、折れてしまったバットを再利用して作られたもの。「環境を大切にすることを少しでも皆様と分かち合いたい」。わたしたちホクレンはこれからも様々な取り組みを通じ、北海道の美しい自然を守る活動を続けてまいります。



わたしたちのふるさと北海道のキレイな水をみんなで守ろう!



頑張れファイターズ!! 無洗米ほしのゆめ5kg 頑張れファイターズ!! 無洗米ななつぼし5kg 頑張れファイターズ!! 無洗米ななつぼし2kg

ファイターズの選手が実際に使用した破損バットを再利用! 北海道日本ハムファイターズ選手の「エコ箸」プレゼントキャンペーン!

- 応募方法 対象商品に貼られている応募券(5kgは2枚)または「2kgは5枚」を集めて、「専用応募はがき」または「郵便はがき」にしっかりと貼り、郵便番号、住所、氏名(必ずふりがなを明記)年齢、性別、電話番号をご記入のうえ、ご応募ください。
- 応募先 〒060-0062 札幌市中央区南2条西7丁目5-6 札幌南二条郵便局 北海道日本ハムファイターズ キー・ブレイク・クリーンウォーター エコプロジェクト「エコ箸」プレゼントキャンペーン 事務局
- 対象商品 ○頑張れファイターズ!! 無洗米ほしのゆめ5kg ○頑張れファイターズ!! 無洗米ななつぼし5kg・2kg
- 賞品 北海道日本ハムファイターズ選手のサイン入り「エコ箸」毎月抽選で10名様
- 抽選 厳正なる抽選のうえ、当選者を決定します。発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

詳しくはパソコンからアクセス!! ホクレン エコプロジェクト 検索 ファイターズ選手のメッセージも配信!